

## エアウォールIV規格表

一般医療機器 救急絆創膏 届出番号:27B2X00038000014

品名	規格	サイズ	品名コード	個装			外装	
				販売希望 小売価格	入数	JAN [4971620]	ケース	GTIN [14971620]
エアウォールIV 切り込みタイプ 滅菌済医療機器	No.70V	70mm×90mm	YB-21070V	13,500円	100枚	860502	10箱	860509
	No.90V	90mm×120mm	YB-21090V	8,000円	50枚	860519	10箱	860516

一般医療機器 救急絆創膏 届出番号:27B2X00038000015

品名	規格	サイズ	品名コード	個装			外装	
				販売希望 小売価格	入数	JAN [4971620]	ケース	GTIN [14971620]
エアウォールIV フレームタイプ 滅菌済医療機器	No.70F	70mm×60mm	YB-21070F	12,000円	100枚	860526	10箱	860523
	No.120F	120mm×100mm	YB-21120F	7,000円	50枚	860533	10箱	860530

一般医療機器 救急絆創膏 届出番号:27B2X00038000016

品名	規格	サイズ	品名コード	個装			外装	
				販売希望 小売価格	入数	JAN [4971620]	ケース	GTIN [14971620]
エアウォールIV レギュラータイプ 滅菌済医療機器	No.4050R	40mm×50mm	YB-214050R	5,200円	100枚	860656	10箱	860653
	No.6070R	60mm×70mm	YB-216070R	5,800円	100枚	860663	10箱	860660
	No.6090R	60mm×90mm	YB-216090R	7,000円	100枚	860694	10箱	860691
	No.8010R	80mm×100mm	YB-218010R	5,600円	50枚	860687	10箱	860684
	No.1012R	100mm×120mm	YB-211012R	7,500円	50枚	860670	10箱	860677

※販売希望小売価格には、消費税は含まれておりません。

### 切り込みタイプ



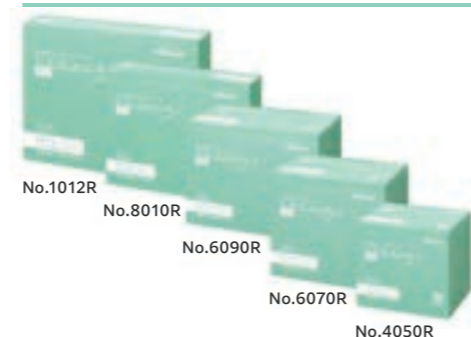
No.90V No.70V

### フレームタイプ



No.120F No.70F

### レギュラータイプ



No.1012R  
No.8010R  
No.6090R  
No.6070R  
No.4050R

## 使用目的または効果 ●創傷面の保護

### 【使用上の注意】

●穿刺部から滲出液や出血が見られる場合は使用しないでください。●明らかに感染を有している部位には使用しないでください。●使用部位とそのまわりを清潔にし、水気をよく取って使用してください。水気があるとつきにくい場合があります。●貼付部位は感染症・皮膚障害等の徴候及び本品の破れ・浮き等があるかどうか確認するため毎日観察してください。●本品の使用により、感染症及び皮膚障害(発疹・発赤・かゆみ等)と思われる症状があらわれた場合は、使用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。●救急絆創膏にかぶれやすい方は、注意して使用してください。●皮膚の弱い方は同じところに繰り返し貼らないでください。●滅菌効果が損なわれますので、滅菌袋は使用時に開封してください。●包装が破損または汚損している場合は、滅菌効果が損なわれますので使用しないでください。●剥がす際は、皮膚障害やカテーテルの抜去を防ぐため、皮膚やカテーテルを押さえながらゆっくり剥がしてください。

### 【保管方法】

●直射日光が当たらない湿気の少ない、涼しい所に保管してください。●小児の手の届かない所に保管してください。

【ゼロ感覚フィルムドレッシング 注釈★】ゼロ感覚とはまるでテープを貼っていないかのような感覚を意味しています。ただし感覚には個人差があります。

テープが医療にできること、もっと。

**skinix**  
www.skinix.jp

株式会社 共和 メディカルグループ

大阪本社:〒557-0051 大阪市西成区橋 3-20-28  
TEL:06-6658-8217  
FAX:06-6658-8101

東京本社:〒135-0016 東京都江東区東陽 5-29-16  
TEL:03-5634-3843  
FAX:03-5634-3845

ゼロ感覚フィルムドレッシング

エアウォール  
IV AIR WALL



— 安全・安心のその先へ —

# こだわったのは、「理想のやさしさ」。

※1

あの“ゼロ感覚フィルム”<sup>★</sup>エアウォール<sup>®</sup>のやさしさが、そのまま滅菌済みフィルムドレッシングに。7ミクロンの極薄・透明テープが実現する、今までにないやわらかさとムレにくさで、肌ストレスを極限まで減らしました。もちろん肌や穿刺部の凹凸にもしっかり密着。バツグンの固定力<sup>※2</sup>で長く安定して使えます。

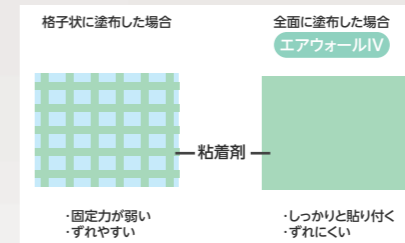
「エアウォールIV」  
これからのフィルムドレッシングの理想の形<sup>※1</sup>です。

## ぴったり密着、しっかり固定

極薄フィルムが肌やカテーテルに密着、しっかり貼り付きはがれにくい。

エアウォールIVは、とても薄く柔らかいフィルムを使っているので、カテーテル周りにもしっかりフィット。肌の動きによるシワのような浮きやはがれをおさえ、穿刺部をしっかりと固定、保護します。フィルムの全面に粘着剤が塗ってあるので、より安定して固定でき、さらに粘着剤が肌に残る不快感もほとんどありません。

### 粘着パターンによる固定力の違い



フィルム全面に粘着剤を塗布しているため、しっかりと貼り付きます。



### 貼付け一週間後の違い



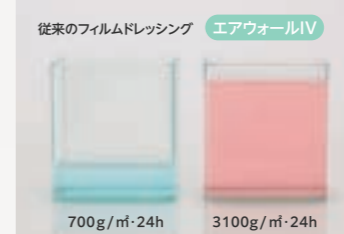
ヨレてシワシワ。すきまから水や雑菌が入る可能性が。 **ほぼ貼った時のまま**

## ムレと隙間をおさえて、清潔サポート

ムレにくさ大幅アップ、凹凸にフィットし隙間ができにくい。

エアウォールIVは、これまでのフィルムドレッシングに比べて水蒸気透過性がとても高く、汗の蒸発を邪魔しないので、ムレによる菌の増殖をおさえます。さらに、極薄フィルムが肌やカテーテルの凹凸にしっかりフィットし、穿刺部を密閉しやすいので、隙間から水や雑菌も入りにくく、清潔管理にも役立ちます。

### 水蒸気透過量の違い



水蒸気透過性約**4倍!**※(24時間1m²当たり)

### 剥離後の比較



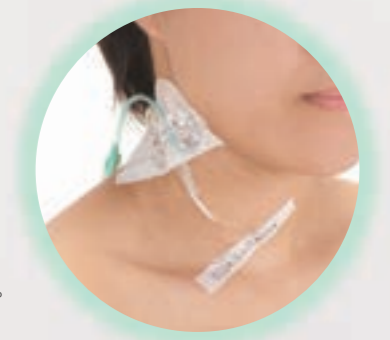
ムレなどによるかぶれが… **ほとんど異常なし**

## 貼っている違和感に、サヨナラ

伸びやすさ従来の約15倍<sup>※</sup>、  
体の動きに沿ってほとんどつっぱり感なし。

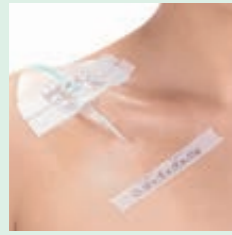
エアウォールIVは、従来のフィルムより非常に柔らかく伸びやすく、肌の細かな動きと一緒に伸び縮みするので、貼っている違和感がほとんどありません。特に、頸部などの動きが多い部位は、テープを貼っている違和感や肌ストレスも強いので、肌なじみの良いフィルムを使うことは、患者さんの心の負担を和らげることもつながります。

※当社比



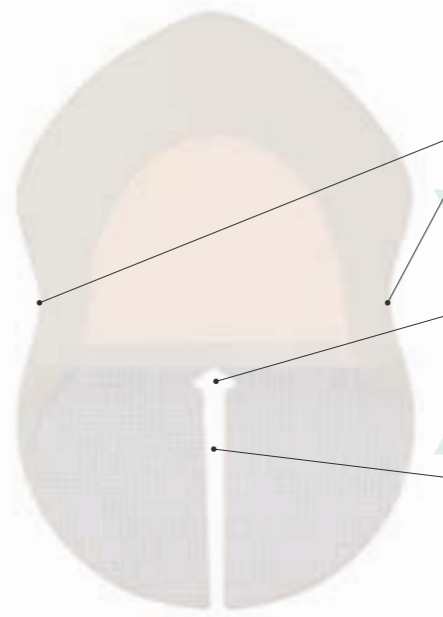
AIRWALL IV  
切り込みタイプ

No.70V / No.90V



テープ交換の目安に。

3本の不織布テープ(滅菌済)のうち、2本はカテーテル固定用に、もう一本は日時記録に使え、交換日も一目瞭然。



**シワが寄りにくい!  
独自のサイドカーブ**  
スリットを重ねた時のヨレを軽減するサイドカーブ。シワが寄りにくく、肌の引っばりも大幅に緩和。

**ひし形ホールが  
カテーテルに密着!**  
独自のひし形ホールがカテーテル周囲にしっかり密着し、細かなシワやすぎ間ができません。

**重ね合わせラクラク!  
ストレートスリット**  
無理なく重ねられるストレートスリットで、皮膚にかかるつばりを大きく軽減。

貼り方手順

- ① 製品中央の切り込みから、表面の紙を不織布テープと一緒に貼ります。テープは後から使用します。
- ② 裏返して、上側の大きい紙をはがします。
- ③ 穿刺部がテープの中央に来るよう合わせます。
- ④ 穿刺部が透明な部分の中央に来るよう合わせ、テープの上から押さえて空気が入らないようしっかり密着させます。
- ⑤ 切り込み部分の剥離紙をはがします。
- ⑥ テープをカテーテルの下で重ね合わせて固定します。
- ⑦ 残ったフレームをはがし、テープの端まで密着しているか確認してください。
- ⑧ 付属の不織布テープでカテーテルを固定します。
- ⑨ テープ交換日の目安用に、記録ラベルを貼ります。

使用例



末梢静脈カテーテル固定にも

はがし方



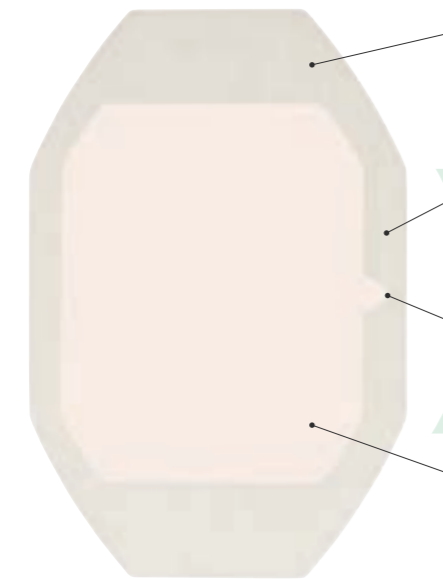
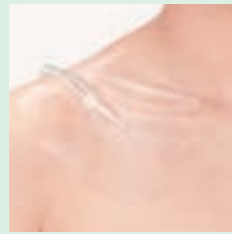
先に不織布部分をはがします。



フィルムの端を持ち、皮膚と平行に引っ張りながら、ゆっくりとはがします。

AIRWALL IV  
フレームタイプ

No.70F / No.120F



**フレームが極薄フィルムを  
しっかりホールド!**  
柔らかい極薄フィルムでもヨレにくくしっかり貼れる。

**サツとはがせて  
端まで密着!**  
内から外へフルリとはがせて端までびったり貼れる。

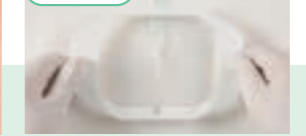
**一目で位置確認!  
ガイドスリット**  
フィルムのセンターにあり貼り付け位置がばつと分かる。

**大きな窓から  
穿刺部を確認!**  
大きな窓で確認しながら穿刺部周りをしっかり固定。

貼り方手順

- ① 四角い切り込みの部分を貼ります。周りのフレームはそのまま残します。
- ② 裏返して、左右に剥離紙をはがします。
- ③ 穿刺部がフレームの中央に来よう確認しながら位置を合わせます。
- ④ カテーテルに沿って隙間が無いようテープを密着させます。
- ⑤ テープ全体を押さえ、空気が入らないようしっかり肌へ密着させます。
- ⑥ フレームの細い部分(ガイドスリット部)をつまんでちぎります。
- ⑦ テープの端を押さえながらフレームをゆっくりはがし、端までなでるように貼り付けます。

Point



横向きで使う時は、ガイドスリットをカテーテルと反対側にする方がキレイに貼れます。

はがし方



フィルムの端を持ち、皮膚と平行に引っ張りながら、ゆっくりとはがします。

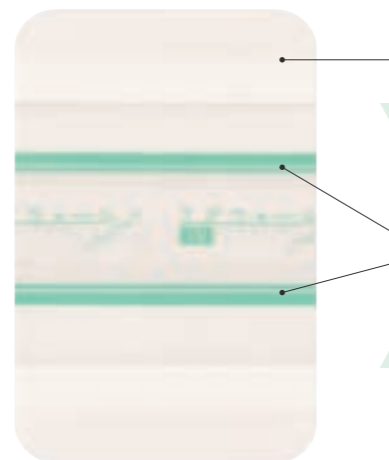
使用例



末梢静脈カテーテル固定にも

AIRWALL IV  
レギュラータイプ

No.4050R / No.6070R  
No.6090R / No.8010R / No.1012R



**片手でもカンタン操作!**  
表の透明フィルムにはコシがあるので扱いやすく、カテーテルを押さえながら片手でもスムーズに貼れる。

**センターガイドで  
貼り位置ぴったり!**  
表の透明フィルムのセンターガイドで、穿刺部・創部が見やすく、位置を合わせて貼りやすい。

貼り方手順

- ① 中央の大きい剥離紙をはがします。
- ② テープの両端を持って、穿刺部・創部がテープの中央に来るように合わせて貼ります。
- ③ 両端の小さい剥離紙をはがし、フィルムが大きく浮かないよう端まで貼ります。
- ④ 一方のセンターガイドから、表のフィルムをはがします。
- ⑤ もう一方の表のフィルムもはがします。
- ⑥ 穿刺部・創部の周りを押さえ、テープをしっかり密着させます。

※No.4050Rは貼り方が異なります。使用上の注意をよく読んでご使用ください。

はがし方



フィルムの端を持ち、皮膚と平行に引っ張りながら、ゆっくりとはがします。